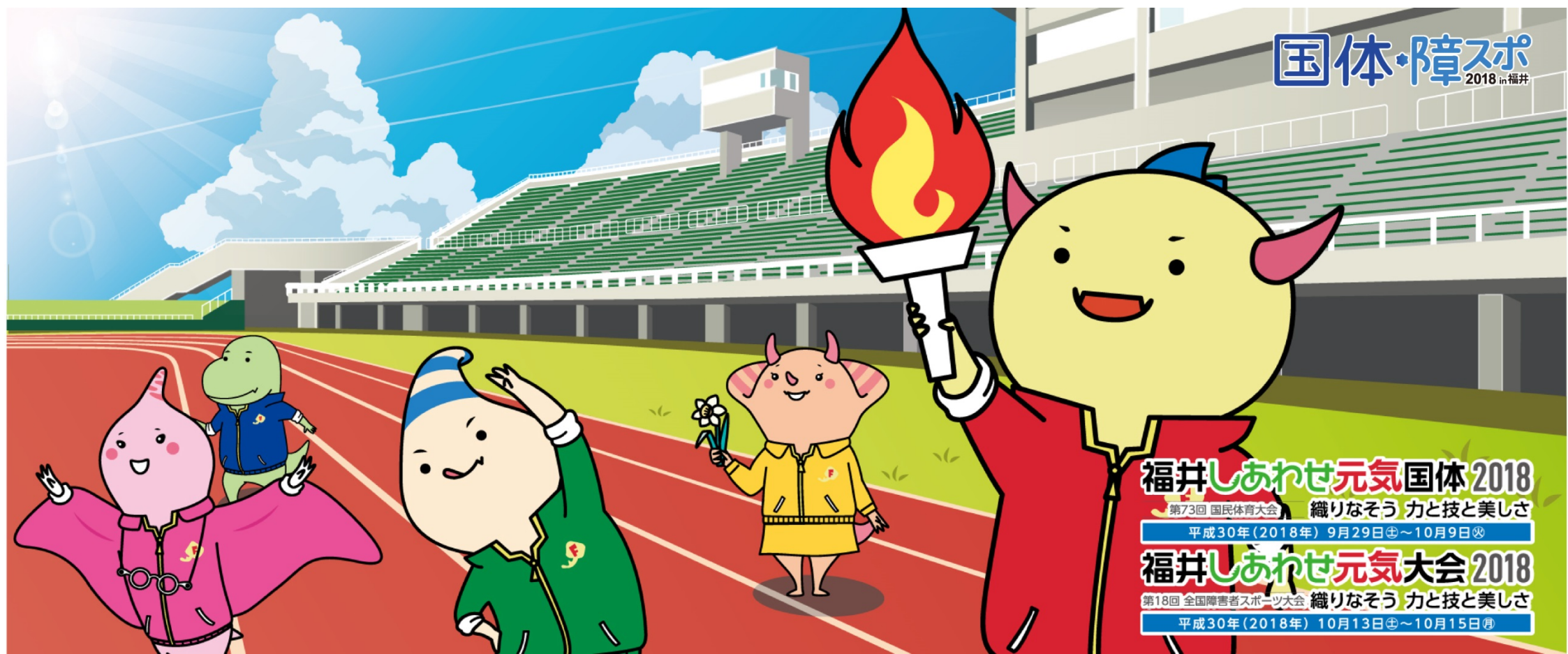


# 平成30年度当初予算案

(平成29年度2月補正予算案を含む)



国体・障スポ  
2018 in 福井

福井しあわせ元気国体2018

第73回 国民体育大会 織りなそう 力と技と美しさ

平成30年(2018年)9月29日(土)~10月9日(必)

福井しあわせ元気大会2018

第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

平成30年(2018年)10月13日(土)~10月15日(月)

# 平成30年度当初予算編成の重点ポイント

## 『 交流新時代に福井チャレンジ 』

北陸新幹線、中部縦貫自動車道の整備が着実に進む交流新時代の中で、来年度は半世紀ぶりの国体・障スポ、幕末明治150年を迎える大きな節目の年であり、新たな50年へのスタートを切る年である。

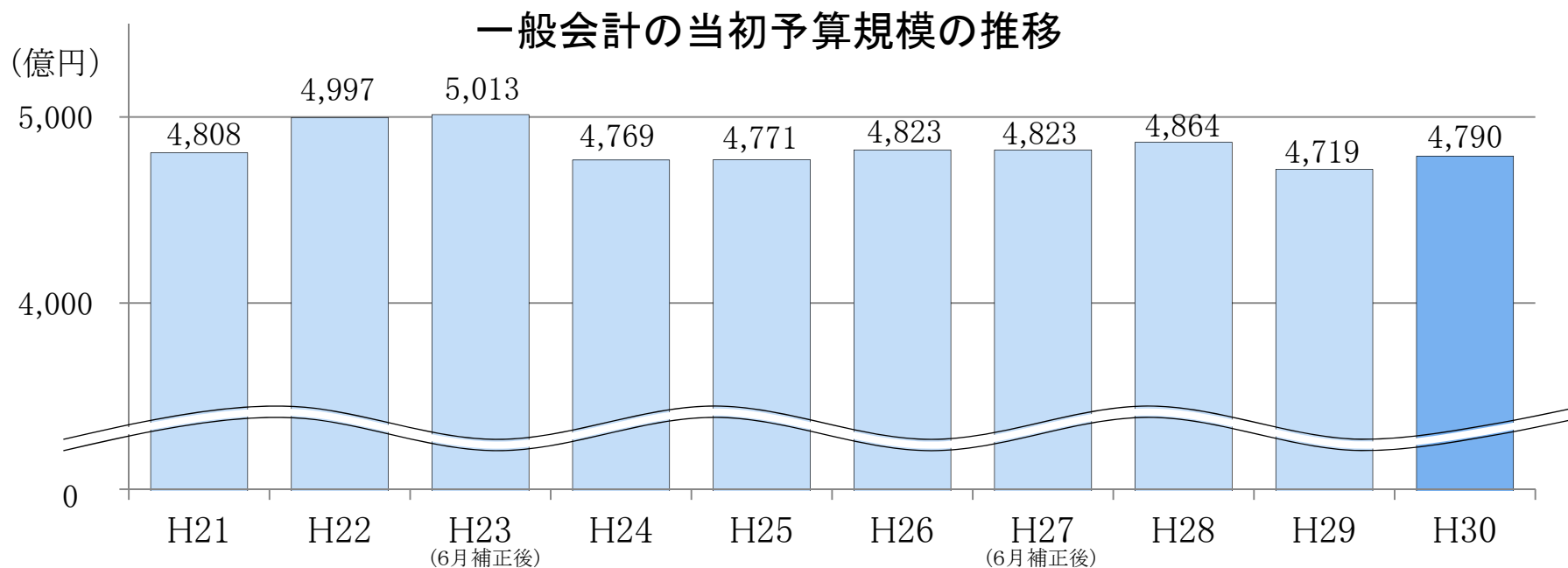
国体・障スポをはじめスポーツ、文化など様々な分野で活躍する県民や幕末明治に近代日本の礎を築いた郷土の先人たちのように、一人ひとりが交流ネットワークを国内外に大きく広げ、自ら新たな挑戦（チャレンジ）を行うことにより、福井の新たな時代を切り開き、福井の魅力・幸福度をさらに高めていく。

- 1 新たな50年へのスタート
- 2 交流ネットワークの拡充
- 3 チャレンジ人材の応援
- 4 福井ふるさと元気宣言の実現

# 平成30年度当初予算案の規模

◎ 一般会計の予算規模 4,790億円 (対前年度比1.5%増)

会計	30年度 当初予算案 (億円)①	29年度 当初予算 (億円)②	伸び率 (%) ①/②
一般会計	4,790	4,719	1.5
特別会計	875	181	383.1
企業会計	369	362	2.0
計	6,034	5,262	14.7



# 1 新たな50年へのスタート

『県民総参加による国体・障スポの成功』

## 福井しあわせ元気国体・障スポ開催事業（6,748百万円）【主要事業P53】

○全国初となる国体と全国障害者スポーツ大会の融合

### 福井しあわせ元気国体・障スポの特色

#### ■福井発 国体・障スポの融合

- ・障スポの開閉会式、競技応援などへの県民参加を促進
- ・デモンストレーションスポーツ等への障害者の参加を促進
- ・ボランティアによるサポートや会場のバリアフリー化など支援体制を充実

#### ■しあわせと元気を全国に発信

- ・全市町において競技を開催。選手の応援・サポートを県民総参加により実施
- ・開閉会式の都道府県応援団（小・中学生）に大人も加わり、全力で応援
- ・はぴねすダンスを学校授業や認知症予防など健康・体力づくりに幅広く活用

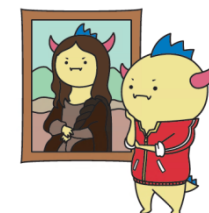
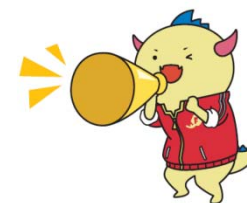
#### ■福井ブランドによるおもてなし

- ・おもてなし広場や選手の宿泊施設において「いちほまれ」を提供
- ・競技会場などに恐竜ベンチを設置。参加章（選手等）に漆器・眼鏡の技を活用
- ・ボランティアに食・文化など福井の魅力発信の講習を実施

#### ■明治150年記念

- ・明治150年の記念大会とし、幕末明治に福井の先人が果たした偉業を発信

国体・障スポ  
2018 in 福井



## 競技力向上対策事業（1,466百万円）【主要事業P53】

## 障害者スポーツ振興事業（68百万円）【主要事業P53】

○福井国体における総合優勝に向け、さらなる選手強化対策を実施

- ・有力選手獲得人数の拡大（少年選手150名→166名）
- ・インターハイ、遠征にトレーナーを派遣し、選手の怪我を予防
- ・スーパーアドバイザーが選手に帯同し、戦略的対応力を強化
- ・遠征の実施、戦力分析、メンタル強化により接戦を勝ち切る力を強化

⇒ 大会後も獲得した選手や優秀な指導者等により競技力を維持・向上

○福井しあわせ元気大会を契機とした競技力の向上と障害者スポーツの裾野拡大

- ・「チームふくい」アスリートの強化練習会拡大（月2回→3回）
- ・トップアスリートによる障害者と健常者との合同講習会の開催などによる相互交流

## 県営陸上競技場デザイン改装事業（5百万円）【主要事業P54】

○男子100m日本人初の9秒台誕生を記念した  
県営陸上競技場の愛称付与と統一デザインへの改装



【改装イメージ】

## 共生社会の推進（41百万円）【主要事業P20】

- 「障害のある人もない人も幸せに暮らせる福井県共生社会条例」の理念を広く周知するとともに、障害者の社会参加への基盤を整備し、官民が一体となって共生社会の実現を推進

### 条例理念の普及啓発

- ・ 共生社会づくりを推進するセミナー、タウンミーティングの開催
- ・ 県民を対象とした手話講座の開催

### バリアフリー化の推進

#### ■施設のバリアフリー

- ・ 小規模商業施設等のバリアフリー整備へ助成

補助率 1 / 2

#### ■情報通信技術による情報提供

- ・ イベント等におけるICTを活用した文字通訳の導入
- ・ 記者会見動画、県議会（代表・一般質問）中継への手話通訳映像の導入



【小規模商業施設の段差解消】



【ICTを活用した文字通訳】

**幕末明治福井150年博開催事業**（35百万円）【主要事業P43】

**歴史資源魅力創出事業**（26百万円）【主要事業P43】

**歴史博物館企画展開催事業**（36百万円）【主要事業P43】

- 「幕末明治福井150年博」を開催。近代日本の礎を築いた先人の功績や生き方を学び、歴史・文化を継承するとともに、交流促進と観光誘客を拡大

### 「幕末明治福井150年博」の概要

#### ■開催時期

平成30年3月24日（土）～11月30日（金） 252日間

#### ■150年記念展

- ・ 県立歴史博物館や福井市立郷土歴史博物館など全市町の文化施設において、企画展を切れ目なく開催
- ・ 映像で見る幕末明治の福井館（仮称）を県立歴史博物館内に整備
- ・ 市町が行うゆかりの地の整備等を支援

#### ■イベントの開催

- ・ 幕末四賢侯（松平春嶽、島津斉彬、山内容堂、伊達宗城）シンポジウム
- ・ 天狗党の足跡を辿るツアー 等



【松平春嶽】



【橋本左内】



【由利公正】

### 北陸新幹線建設事業（24,500百万円）【主要事業P49】

○金沢・敦賀間の一日も早い開業を目指し、鉄道・運輸機構が高架橋等の工事を促進



【九頭竜川橋りょう工事】



【福井高柳高架橋工事】



【新北陸トンネル工事（楳曲工区）】

#### <平成30年度の事業概要>

- ・事業費 225,000百万円（うち福井県内 122,504百万円）
- ・主な内容 橋りょう工事（九頭竜川橋りょうなど）  
高架橋工事（福井高柳高架橋など）  
トンネル工事（新北陸トンネルなど）



## 中部縦貫自動車道整備事業（4,342百万円）【主要事業P50】

○早期全線開通を目指し、大野油坂道路のトンネル工事などを推進



【①荒島第1トンネル(仮称)付近(大野市下唯野)】

【②九頭竜川橋(仮称)付近(大野市下山)】

【③和泉IC橋(仮称)付近(大野市貝皿)】

### <平成30年度の事業概要>

- ・ 事業費 17,300百万円
- ・ 主な内容
 

大野～大野東間 大野東～和泉間 和泉～油坂間	設計、用地買収 トンネル工事（荒島第1トンネル（仮称）など） 用地買収、トンネル工事（新長野トンネル（仮称）など）
------------------------------	---

## 「年縞」活用推進事業（675百万円）【主要事業P25】

### 年縞博物館開館記念事業（22百万円）【主要事業P25】

### タイムスケープ研究・活用事業（2百万円）【主要事業P25】

○県年縞博物館の開館に合わせ特別企画展や国際シンポジウムを開催



【年縞博物館の外観】



【約7万年分・45mの水月湖年縞を直線的に展示】

#### <年縞博物館の建設工事>

- ・総事業費 約14億8千万円
- ・事業期間 平成27～30年度

#### <開館記念事業>

- ・開館記念式典（平成30年9月）
- ・年縞から得られる知見を学ぶ特別企画展
- ・世界の年縞研究者等による国際シンポジウム
- ・立命館大学による県内中高校生を対象としたサマースクール等

#### <タイムスケープ研究・活用>

- ・年縞研究と関わりのある最新の研究成果について調査

年縞に含まれる花粉、火山灰等から解明される人類史、気候変動の歴史を解説するなど、環境教育の拠点として活用

年縞の魅力を国内外に広く発信、誘客拡大

## おもてなし産業魅力向上支援事業(100百万円)【主要事業P33】

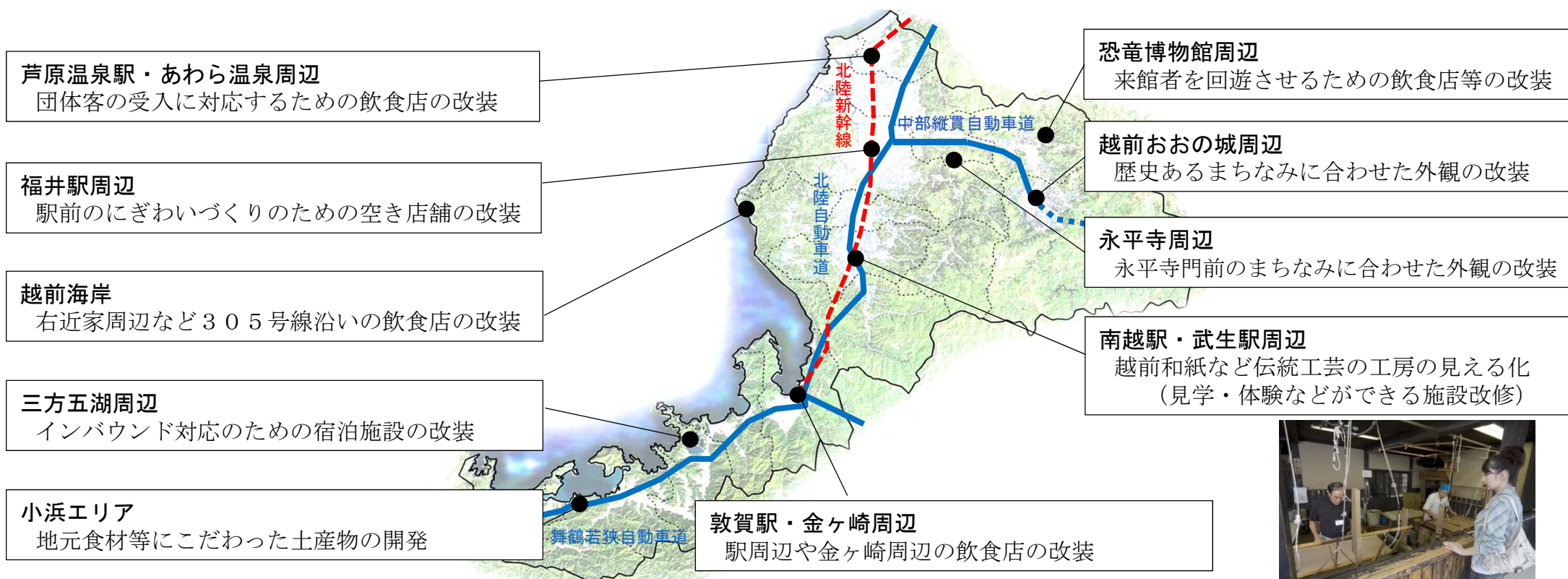
○新幹線開業に向け、駅周辺市街地や観光拠点周辺の店舗等における観光客の受入れ態勢を支援

### ■開業までの5年間に集中支援(平成30～34年度)

(事業内容) 飲食店や宿泊施設などの店舗改装・設備導入  
伝統工芸品の工場などの見学・体験施設の整備  
県産食材を活用した土産品の開発

(支援数) 200店舗(5年間)

(補助率) 2/3(300万円を上限)



【越前和紙工場の見える化】

## 映画を活用した「恐竜王国福井」全国発信事業（20百万円）【主要事業P43】

○全国上映される恐竜をテーマとする映画を活用し、「恐竜王国福井」の魅力を全国へ発信

- ・恐竜博物館のPRと映画の告知を合わせたCMを放映  
（全国の映画館約90館（全国の約2割））
- ・映画とコラボした「恐竜王国福井」のPR展を開催  
（東京、名古屋、大阪の百貨店等）



【恐竜王国福井のPR展示】

## 福井城址しあわせプロジェクションマッピング事業（40百万円）【主要事業P4】

○県庁舎へのプロジェクションマッピングを実施。県民や国体・障スポのため本県を訪れる方々に幸福度日本一の魅力を発信

### 【映像内容】

- ・県民の活躍や福井の魅力などを分かりやすく伝える  
ショートストーリー
- ・来場者がその場で書いたメッセージ等を投影

### 【実施時期】

- （秋）国体・障スポ期間中
- （冬）福井駅周辺イベントと連携

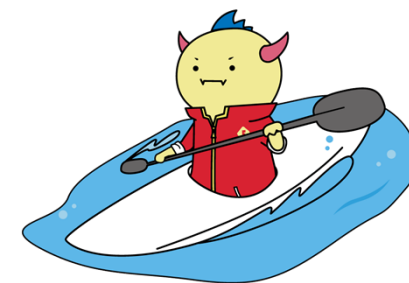


【県庁での投影イメージ】

## 三方五湖エリア魅力アップ推進事業（2百万円）【主要事業P48】

○三方五湖エリアが新幹線開業時に敦賀から西へと観光客を呼び込む滞在型観光の拠点となるよう、関係団体からなる協議会を設置し、全体計画を策定

- 「三方五湖全体協議会（仮称）」の設置
  - ・ 共通コンセプトの策定や各事業の共通、相互連携を促進
- 「三方五湖ステップアッププログラム（仮称）」の作成
  - ・ サイクリングやカヤックなどの体験プログラムを充実
  - ・ 景観の改善などエリア活性化に向けた全体計画を作成
- キックオフシンポジウム、住民ワークショップの開催
  - ・ 地域全体で活性化に向けた機運を高められるよう、シンポジウムや住民ワークショップを開催



## 若狭湾の民宿滞在促進事業（3百万円）【主要事業P48】

○民宿等が協力して地域全体の魅力を向上し、観光客等の滞在・交流を促進

- ・ 地域全体をマネジメントする組織の設置
- ・ 民宿等を活かした地域の滞在・交流促進プロジェクトの作成

## 関西圏における交流・経済活動等促進調査事業（2百万円）【主要事業P46】

○関西圏における本県のPR強化のため、効果的な営業戦略等を検討

## アジア市場への食の輸出拡大事業（31百万円）【主要事業P32】

○市場拡大が見込まれるアジア諸国に対し、福井の食材・酒、伝統的工芸品等を組み合わせた食文化のPRと本県への観光誘客活動を強力に展開

- ・タイにおいて新たに食文化提案会・商談会などを実施
- ・香港、台湾、シンガポールにおいて高級スーパーにおける物産展等を開催
- ・アジア各国のバイヤーとの商談会を県内において開催

## 香港における福井県アンテナショップ事業（11百万円）【主要事業P33】

○香港にアンテナショップを設置することにより、県産品の販路拡大と本県へのインバウンドを促進

### 【アンテナショップの概要】

開設場所 香港中心部の百貨店などを予定

運営期間 約3か月間（10月～12月）

活動内容 県産品（食品、工芸品）の展示販売、PRイベントの開催

## 台湾における観光営業力強化事業（4百万円）【主要事業P46】

○小松空港への新たな定期便が就航した台湾において営業を強化し、誘客を拡大

- ・現地観光営業窓口の開設（旅行会社、学校関係者等への営業活動など）

#### 人材確保支援センター運営事業（59百万円）【主要事業P32】

○人材確保支援センターを新たに設置（福井商工会議所内）し、多様な人材が活躍できる職場づくりや、県外大学とのつながりの強化など、企業が行う人材確保の取組みを支援

##### 企業の人材確保に関する相談対応

- ・ 中小企業診断士が企業の課題に応じた人材確保・活用策を提案
- ・ 女性活躍支援センター等と連携し、求職者とのマッチングを強化

##### 企業向けセミナーの実施

- ・ 採用力向上や多様な人材の雇用に関するセミナーの実施



【採用力向上セミナー】

##### 県外大学と企業とのつながりを強化

- ・ 県外大学のキャリアセンターと県内企業の交流会を開催することにより、つながりを強化し、企業による県外での採用活動を促進

## 学生ベンチャー・チャレンジ応援事業（3百万円）【主要事業P8】

○大学での研究成果や学生の斬新なアイデアを活かした起業へのチャレンジを支援

支援対象	県産業情報センターにおいて起業を行う県内の学生	
助成内容	(1) 産業情報センター（スタートアップエリア）使用料	（補助率 10/10）
	(2) 会社設立にかかる経費	（補助率 3 / 4）
	(3) 商品開発や新サービス創出のための試作品作成等にかかる経費 （県公設試の使用料等）	（補助率 3 / 4）

## 地域おこし協力隊定着支援事業（5百万円）【主要事業P8】

○地域おこし協力隊員が3年間の任期終了後も引き続き県内で活動することを支援

### 協力隊としての任務（1～3年目）

- ・ 地元住民と連携した観光誘客イベントの企画、実施
- ・ 地域行事の運営
- ・ 移住者の受入れ支援 など

### 4年目以降（協力隊退任後）

#### ■ 地域活性化の活動費等を支援

協力隊活動市町に居住 100万円／人  
活動市町外に居住 50万円／人

#### ■ 活動例

地域の若者リーダーとして地域活性化イベントの企画、実施



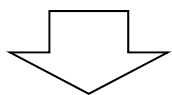
## 都市人材による地域貢献促進事業(9百万円)【主要事業P4】

- 人口減少社会における地域活動の新たな担い手として都市部の企業人材等を誘致。  
福井と都市圏の2地域を行き来しながら地域貢献活動等を実践する個人を市町とともに応援

### 都市人材の募集

(想定される人材)

- ・ 広告代理店等の広報企画担当者
- ・ 旅行会社や食品会社等の新商品開発担当者
- ・ システム会社等のIT技術者 など

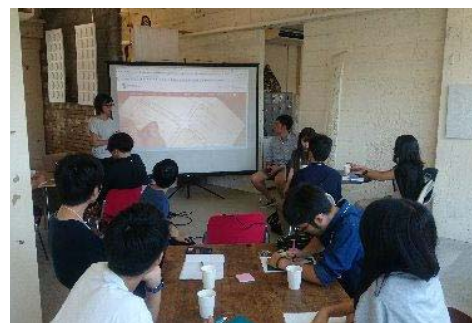


### 県内での地域貢献活動

市町が都市人材を受け入れ、地域づくり活動等を共働して実施(市町への支援)

(活動例)

- ・ 地域資源を活かした新商品開発に協力
- ・ 里山里海湖ビジネスの起業支援
- ・ 地域の祭りや里山里海湖の保全活動に参加
- ・ 中山間地域での農作業のサポート など



(商品企画会議イメージ)



(農業体験イメージ)

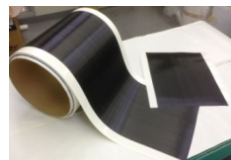
## 次世代航空機材料イノベーション創出事業 (338百万円) 【主要事業P30】

- 炭素繊維の開繊技術（県特許）を活かし、大学、大手重工メーカーなどと共同で次世代航空機の機体軽量化技術を開発。炭素繊維関連企業の航空産業への参入を促進

### 次世代航空機の機体向け製造技術の共同研究

- ・翼・胴体向け薄層シート材や樹脂の開発  
(東京大学、航空機機体製造メーカー、JAXA等と共同研究)

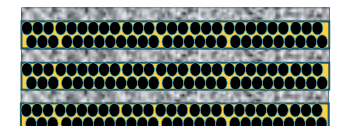
開繊シート



断面



積み重ねやすい  
粘着加工した開繊  
シートを開発



航空機の翼や胴体で使用



・・・使用箇所

### 次世代航空機の機体開発を行うための環境整備

- ・航空機基準の材料開発に対応可能な温度・湿度が一定の試験環境を工業技術センター内に整備



【恒温恒湿室のイメージ】

## 「永平寺参ろード」自動走行実用化研究事業（19百万円）【主要事業P49】

○早期の実用化と過疎地域での交通手段の確保につなげるため、「永平寺<sup>マイ</sup>参ろード（永平寺町内）」において安全対策等を検証

- ・完全無人走行における歩行者への安全対策の検証
- ・交差点の通行量や道路状況などに応じた交通処理の検証

平成29年度  
環境整備

参ろード基盤整備支援  
再生可能エネルギーの  
活用（EV充電器設置）

平成30年度  
本格実証

見通しの悪い交差点の横断等について、信号機や通信機器の設置など安全対策を検証

平成31年度  
試験運行

試験運行の支援

平成32年度  
実運用

実運用の支援



【自動走行実証実験  
（車両：パナソニック）】



【交差点の安全対策検証】

自動走行を活用した  
新たな交通システムの構築

（過疎地域における移動手段の確保など  
課題解決のモデル確立）

## 産学官連携AIビジネス創業支援事業（8百万円）【主要事業P29】

○県産業情報センター（1階）に企業へのAI・IoT等の導入活用を支援する「AIビジネスオープンラボ(仮称)」を設置。新しいビジネスの創造を促進

### 【研究機関・大学等】

- ・ラボ設立、運営の助言
- ・配置機器の利用
- ・学生ベンチャー起業の支援

### 【金融機関等】

- ・資金面の支援

### 【県・産業支援C】

- ・経営アドバイス
- ・人材育成

### 【商工会議所・商工会等】

- ・支援連携

支援

### AIビジネスオープンラボ

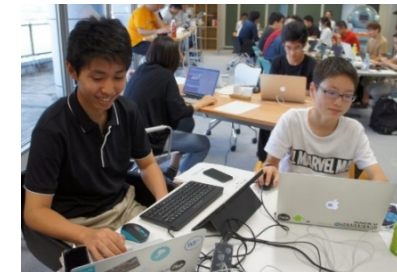


#### ■ラボの3つの機能

- ①相談対応
- ②体験の場の提供
- ③人材の育成



【サービスロボット】



【プログラミング教室】

## 「いちほまれ」ブランド化事業(160百万円)【主要事業P36】

- 「いちほまれ」の本格生産・販売に向け、主要ターゲットである首都圏での販路確保、PRを強化するとともに、関西・中京エリアにも販売を拡大。全国的なトップブランド化を目指す

### ■高価格を維持し「いちほまれ」を生産拡大するためのPR

- ・CM広報の実施
- ・百貨店や高級スーパー等への営業活動
- ・販売イベント等の開催
- ・いちほまれコンシェルジュ（販売専門員）の派遣



【いちほまれコンシェルジュ】

## ふくいワインカレッジ研修事業(11百万円)【主要事業P39】

- ブドウ栽培・ワイン醸造に係る人材を育成。県産「ふくいワイン」により中山間地域を活性化

### ■ふくいワインカレッジの研修

- ・ワイナリー開業コース 定員10名 3年間
- ・ワインブドウ栽培コース 定員10名 1年間



【研修イメージ】

## 地域と連携した学校体制強化事業（247百万円）【主要事業P11】

○地域と連携し各学校における教育相談体制をより一層充実。外部人材の活用により、  
教員の負担軽減を推進

### 教育相談体制の強化

- ・国内第一線の教育相談の専門家を教育総合研究所に配置
- ・養護教諭、生徒指導担当教員に対する研修を県下全域で実施
- ・心理に関する専門的知見を有するスクールカウンセラーを増員（80名→90名）
- ・福祉の専門的知見を有するスクールソーシャルワーカーを増員（20名→23名）



【ケース会議の様子】

### 学校業務の効率化

- ・単独で指導・引率ができる部活動指導員を増員  
（中学校25校→全74校、高校4校→9校）
- ・教員に代わって事務を行う学校運営支援員を増員  
（小・中学校114校→全256校）



【部活動指導の様子】

## 教育ICT環境整備事業(173百万円)【主要事業P11】

○ ICT機器を効率的に活用し授業の効率化を図るとともに、新学習指導要領や大学入試改革に対応するため、県立高等学校のICT環境を2カ年で整備

- ・ 県立高校の全普通教室(571教室)へのプロジェクター等の整備(平成30～31年度)  
整備機器: プロジェクター、教員用タブレット端末、無線LAN  
整備効果: 板書時間の短縮による授業の効率化・生徒と関わる時間の確保 等
- ・ プロジェクター用教材の作成・収集
- ・ 教材共有サイトの機能強化(検索機能など)

### プロジェクターを活用した授業例



【板書時間の短縮】



【プレゼンテーション】



【資料の提示】

## ふくいの地場産学校給食推進事業（41百万円）【主要事業P40】

- 地場産食材の生産者と学校とのマッチングなどにより、学校給食における地産地消を推進
- 特産品や地場産食材を使用した小学校の給食提供（年3回）と食に関する指導により食育を推進

### 供給の円滑化

- ・生産者と学校との仲介役となる人材の育成、配置
- ・生産、流通に関する情報共有の場を設定

### 農業体験活動の推進

- ・児童と農家との交流による農業体験を支援  
生産現場の見学  
苗の植え付け、収穫体験

### 食育の推進

- ・特産品や地場産食材を使用した学校給食を提供し、食に関する授業を実施



【地場産食材を使用した学校給食（イメージ）】



## ひとり親家庭等の子育て安心プラン事業（38百万円）【主要事業P7】

○子育てに関する経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを推進

### ■ひとり親家庭等の子育てに関する費用を補助

- ・実施主体：市町
- ・補助対象：ひとり親世帯等
- ・補助率：県1/2、市町1/2



【病児保育】

補助項目	補助上限額
病児・病後児保育の利用料	2,000円／人・日
放課後児童クラブの利用料	2,500円／人・月
高校生の通学費用（定期代）	10,000円／人・月



【放課後児童クラブ】

## 子ども地球科学探究心向上プロジェクト（13百万円）【主要事業P7】

○児童科学館のコンテンツを日本科学未来館を参考に追加し、子どもの科学の学習に活用

### ■ ジオ・エンゼル（大型モニター）のコンテンツ追加

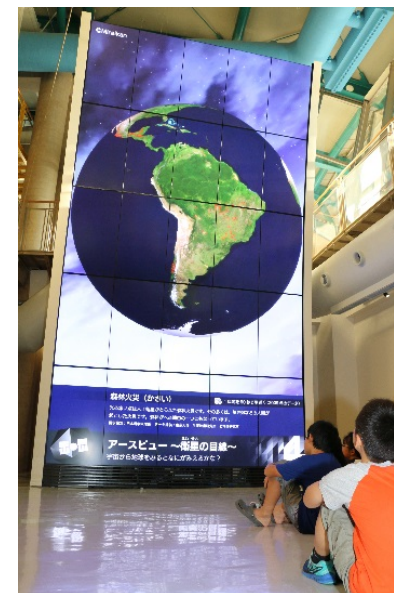
- ・リアルタイムの「宇宙から見た地球の姿」
- ・約6億年前からの「大陸の移動」の様子

#### 【学習内容例】

- ・昼夜の違い、地形、火山活動、日食の様子
- ・年縞の堆積や恐竜の進化と大陸移動の様子

### ■ 移動教室の開催

- ・小学校から児童科学館へのバス移動を支援
- ・専門家による解説とバスの移動時間を活用した科学の学習（小学校5、6年生）

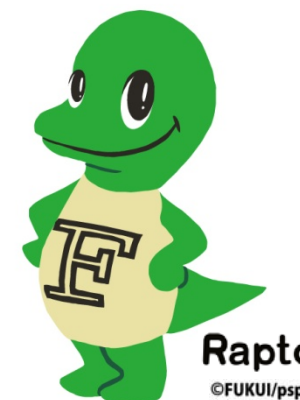


【児童科学館「ジオ・エンゼル」】

## 楽しみ学べる恐竜博物館教育普及事業（7百万円）【主要事業P44】

○恐竜博物館において、子どもたちが恐竜について楽しく学ぶ機会等を創出し普及促進

- ・恐竜の分類や進化をわかりやすく伝える系統図を作成
- ・子ども向けの恐竜セミナーを企業と共動し開催するとともに、インターネットやテレビ番組等において全国に発信



## 4 福井ふるさと元気宣言の実現

### めいわくありがた縁結び地域・職域拡大事業（20百万円）【主要事業P5】

○地域や職場のつながりを活かした縁結びを推進し、若者の出会いや結婚を応援

- ・「企業間交流婚シェルジュ」の配置により若手社員の交流を推進
- ・「ふくい縁結び学校」により地域の縁結びさんのスキルアップを支援
- ・従業員の出会いと結婚を応援する「ふくい結婚応援企業」の登録

### 再婚応援事業（2百万円）【主要事業P6】

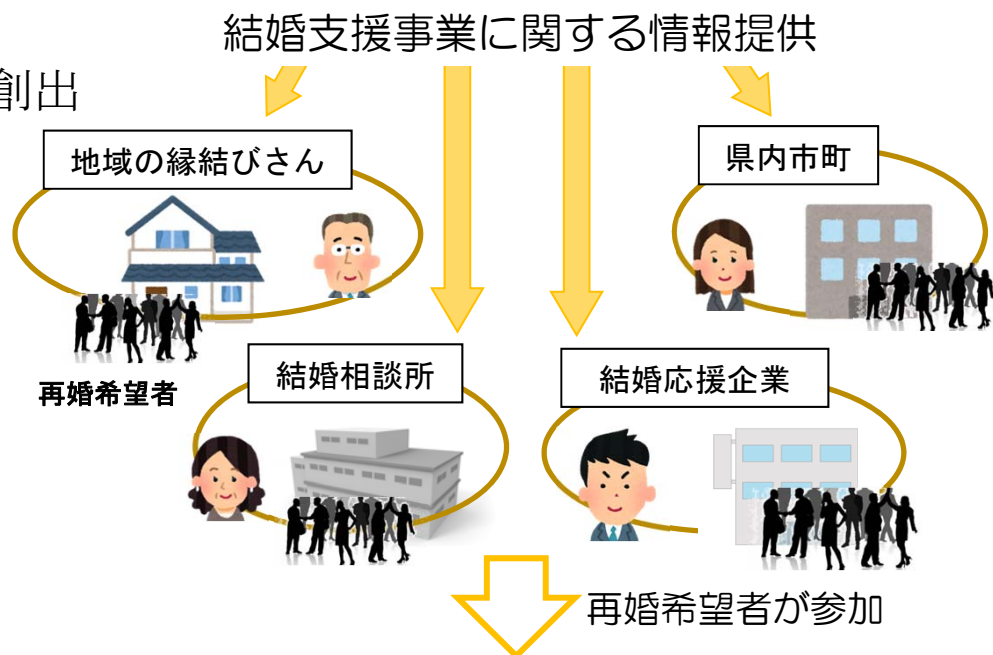
○再婚希望者が参加しやすい交流会など出会いの場を創出

#### ■再婚希望者への結婚支援情報の発信

- ・地域の縁結びさん、結婚相談所等と協力し、再婚希望者に情報を届ける体制を整備

#### ■出会いの場の提供

- ・子ども連れの方が参加しやすい託児付きの婚活イベントや相談会を開催



託児付き婚活イベント、相談会の開催

## 不妊治療費助成事業(204百万円)【主要事業P7】

○特定不妊治療に加え、新たに専門的な治療に入る前段階に夫婦で不妊検査・治療を受ける費用の一部を支援

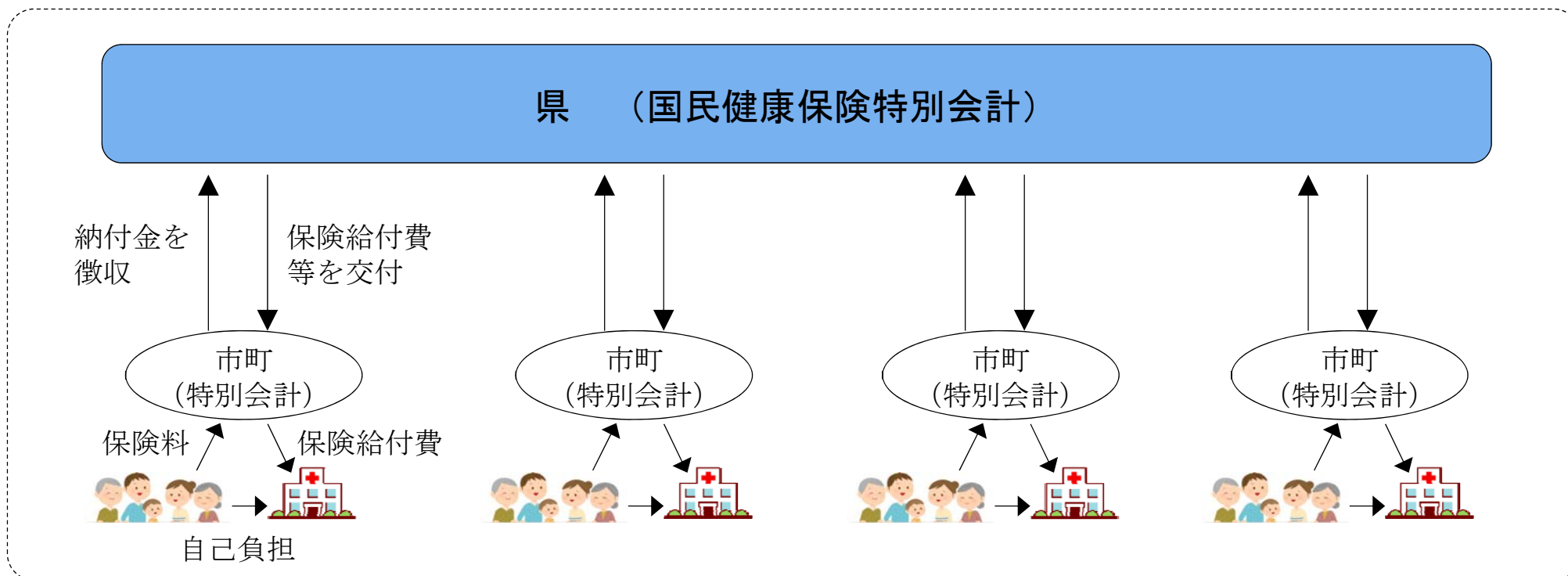
### 【専門的な治療に入る前段階の検査・治療への補助制度を追加】

	①検査	②一般的治療	③専門的治療
項 目	不妊検査	一般不妊治療 (タイミング法 等)	特定不妊治療 (体外受精 等)
自己負担額 の目安	6万円	4万円	30万円～60万円/回
補助上限額	3万円	2万円	7.5万円～15万円 (初回のみ30万円)
年齢制限	妻の年齢が40歳未満、婚姻後3年以内		妻の年齢が42歳以下
助成回数	1組の夫婦につき、1回限り		42歳まで年3回

## 国民健康保険特別会計（65,436百万円）【主要事業P17】

○これまで市町ごとに管理運営していた国民健康保険の財政を一元的に管理運営するため、県に国民健康保険特別会計を設置

- ・被保険者数、世帯数、所得をもとに市町から徴収する事業費納付金を決定。  
被保険者から徴収する標準保険料率を提示
- ・国や県の負担金、事業費納付金などを財源に、保険給付費等に必要な費用を市町に交付



## ドクターヘリ活用推進事業（19百万円）【主要事業P17】

○重篤な救急患者を医師が迅速に救命治療できるよう、ドクターヘリの共同運航を実施

### <共同運航>

滋賀県・岐阜県との共同運航を開始

（救急車による搬送に比較的時間を要する嶺南、奥越等）

【滋賀県】対象地域：嶺南地域

【岐阜県】対象地域：主に奥越地域

- ・ 運航調整委員会の開催
- ・ 協定を締結し、応援運航に係る費用を負担

### <救急医療体制の強化>

- ・ 県内全域において救急医療体制を強化するための運航について検討



【担架による搬入口】



【ヘリ内部の装備】

## 再エネ活用地域振興プロジェクト事業（4百万円）【主要事業P26】

○再生可能エネルギー導入に意欲のある企業を支援し、FIT（固定価格買い取り制度）による売電収入の一部を活用した地域還元型の企画により、地域の活性化を促進

### ■地域協議会の事業化検討に対する支援

再生可能エネルギー事業化、地域振興策の検討  
補助上限額 100万円

### ■再生可能エネルギー設備導入への補助制度を創設

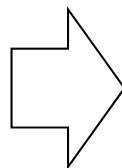
補助率 県1/4、市町1/4（各2,000万円を上限）

地域協議会（地元住民、市町、NPO、県内企業など）

県内企業による再生可能エネルギーの事業化



【小水力発電など】



FIT売電収入の一部を活用

### ■地域振興策（例）

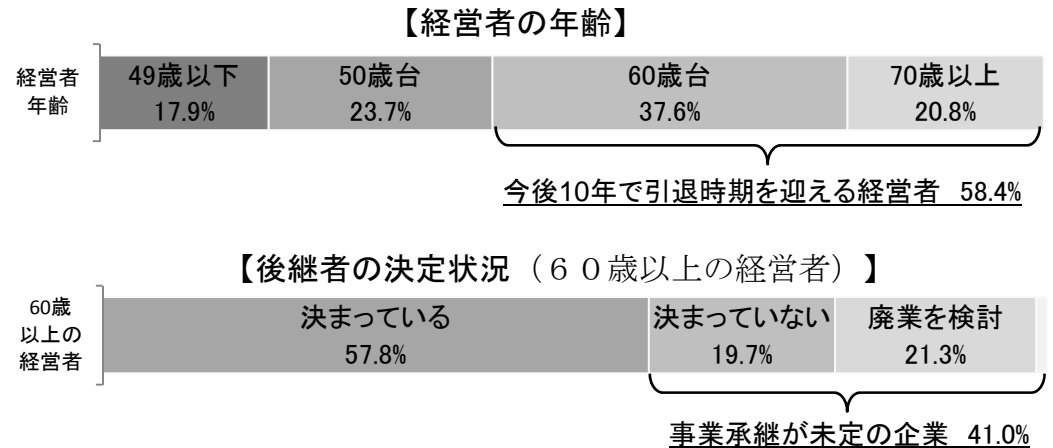
- ・公民館修繕、LED街路灯整備
- ・除雪や農作業支援・機器購入
- ・伝統行事承継、環境教育に活用

## ふるさと企業経営承継円滑化事業（22百万円）【主要事業P34】

○経営者の高齢化が進む中、優れた技術や商品・サービスを持つ県内企業の円滑な事業承継を支援

### 事業承継の見通し

- ・今後10年で、中小企業の経営者の約6割が引退時期を迎える
- ・うち約4割で事業承継が未定



出典：福井県事業承継ネットワーク「事業承継に関するアンケート調査結果」(H29)

### 【県事業承継ネットワークによる支援】

- ・企業訪問等による事業承継の啓発
- ・後継者育成のための研修・セミナーの開催 等

### 【経営者が60歳以上の中小企業等への補助制度を創設】

補助メニュー	補助対象事業	補助率	補助上限額
事業改善型	店舗改装、設備導入、設備承継 等	2 / 3	300万円
承継準備型	承継準備に必要な企業価値の評価 (M&Aのための自社株式の評価 等)	1 / 2 ～ 2 / 3	20～150万円



## 水田を活用した園芸生産拡大事業（171百万円）【主要事業P36】

○園芸生産を拡大するため、水田を活用した排水性の良い圃場づくりと大規模機械化栽培の実践を支援

### ■生産・販売体制の確立

産地ごとにつくる協議会が行う販売先確保の検討、視察などの活動を支援

### ■大規模園芸体系の実証

大規模な園芸栽培を実践する際の種苗代や肥料代、機械リース経費を支援

### ■排水対策の実施

水田園芸の収量を向上するための暗渠や排水溝などの設置を支援



【大規模な園芸栽培を推進】



【園芸用の機械導入を支援】



【大規模栽培にかかる経費を支援】

## アユ資源緊急対策事業(3百万円)【主要事業P41】

○平成29年に記録的な不漁となった天然アユ資源回復のための支援を実施

- ・内水面漁業協同組合連合会が行う海産系アユの追加放流(8.5トン)を支援

## マハタ種苗生産施設整備事業(599百万円)【主要事業P41】

○漁家民宿等でニーズの高いマハタの安定的な生産を行う養殖振興施設を県栽培漁業センター(小浜市)内に整備

### ■種苗生産施設の整備

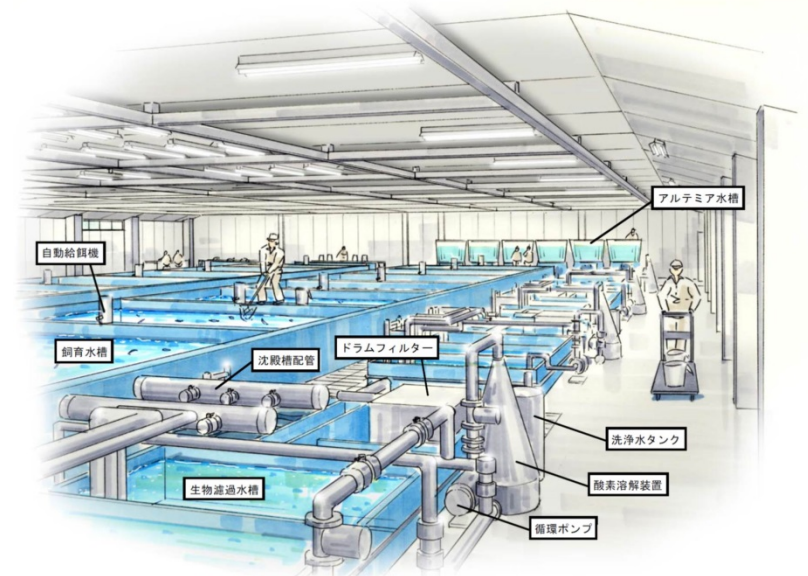
- ・高級魚マハタの養殖用種苗を安定的に供給

### 【施設概要】

25トン水槽 16面、閉鎖循環システム 8基  
年間生産目標 マハタ種苗3万尾

H31 生産開始

H32～ 種苗販売



【マハタ種苗生産施設整備イメージ】

## 県都デザイン戦略推進事業(山里口御門・福の井活用推進事業)

(18百万円) 【主要事業P49】

○山里口御門や福の井を活用し、県民や観光客が楽しみながら歴史を感じることができるよう、イベントを開催するとともにARアプリを開発

※AR:Augmented Realityの略、拡張現実

- ・山里口御門・福の井を活用したイベントの開催

お茶会や福の井の水汲み体験などを実施(天守台跡付近)

- ・福井城ARアプリの開発

山里口御門・福の井等の解説や天守閣・櫓等のCG画像を提供



【山里口御門】

## 嶺南地域における地域公共交通網計画策定にかかる調査事業

(15百万円) 【主要事業P50】

○北陸新幹線敦賀開業の効果を嶺南全域に波及させるため、小浜線を軸とした嶺南地域の公共交通ネットワーク計画を策定し、小浜線の利便性や魅力を向上

平成30年度

- ・協議会(県、嶺南6市町、舞鶴市、交通事業者等)による現況・課題の整理
- ・公共交通の現況・利用実態調査 など

平成31年度

計画策定

敦賀開業まで

新幹線発着に合わせたダイヤ改善、食を楽しむ列車の運行等の検討